

## 柳田國男関係資料の収集について

### 【発表の要旨】

遠野市では、柳田國男関係の資料を収集しています。

### 【発表の内容】

#### 1 収集した物件の説明

澤田昭氏の父で近畿地方の民俗学の重鎮であった澤田四郎作(1899～1971)が収集していた柳田國男関係資料一式(合計263点)

岩手県ゆかりの新渡戸稲造、金田一京助、野村胡堂、ネフスキーから柳田國男に宛てた書簡6点  
水野葉舟、坪井正五郎、田山花袋、野口雨情など文学者や研究者等から柳田國男に宛てた書簡39点

柳田國男から澤田四郎作にあてた葉書120点

柳田國男の直筆原稿8点

その他、『遠野物語』や『後狩詞記』の初版本など、民俗学関係の冊子等90点

合計263点

柳田國男から澤田四郎作に宛てた葉書(大正15年から昭和37年までに送られたもの)120点は『定本 柳田國男集 別巻第四』書簡編に所収されていないものである。

#### 2 澤田四郎作(さわだ しろさく)について

明治32年(1889)奈良県生まれ。大正15年(1926)東京帝国大学医学部卒業、小児科学を研究する傍ら、柳田國男との交流から民俗学をライフワークとする。

昭和9年(1934)柳田國男のすすめにより「大阪民俗談話会」を発足させ会長に就任。また昭和11年(1936)には「近畿民俗学会」が結成され、その会長に就任する。澤田の自宅は民俗学の研究集会にもたびたび利用され、柳田國男、渋沢敬三など多くの民俗学者が寄寓した。昭和46年(1971)5月18日逝去。享年71歳。

#### 3 今後の活用(遠野市立博物館リニューアル後の展示に活用)

平成22年4月に『遠野物語』発刊100周年を記念して、リニューアルオープンする遠野市立博物館は、『遠野物語』を展示テーマの中心に据えている。今回収集した柳田國男関係資料は、『遠野物語』の著者である柳田國男の明治期から昭和にかけての書簡の他、直筆原稿や初版本などが含まれており、柳田の交流関係や研究内容を知る上で貴重な資料であることから、常設展示等に活用する計画である。



柳田國男から澤田四郎作に宛てた葉書



柳田國男原稿

担当 文化政策部文化課(長谷川)

電話 0198-62-2340